

20世紀は、10人の芸術家がいれば、10のイズムが成立。個性尊重、主義主張の時代

1. フォーヴィスム(野獣派) : 現代絵画の最初の革命、サロン・ドートンヌ(1905)

マティス(1869~1954)、ルオー(1871~1958)ら、強烈な原色と荒々しい筆触

フォーヴ運動は1905~06年以降急速に衰え、各々の画家は個性的な画風を築く

2. ドイツ表現主義 : <芸術家集団ブリュッケ(橋)>の結成(1905)、既成権威の否定と、新芸術の創造

フォーヴとほぼ同時期、ドイツで活躍した画家の一群、世紀末画家の影響のもと激しい内面を表現

<ブラウエ・ライター(青騎士)>(1911)、カンディンスキー(1866~1944)、クレー(1879~1940)ら

3. ヴァシリー・カンディンスキー : 抽象絵画の先駆的存在、感情表現、抽象絵画の誕生

ダイナミックな色彩と形態、対象の写実的描写を否定、自己の想像力を奔放に開花させる芸術

・「絵画は、形や事象を伝えるものから、精神の変形になった。」【カンディンスキー】

・「芸術の第一の目的は作家の奥にある感覚の表現である」【カンディンスキー】

・「それぞれの音が独立しているシェーンベルクの調性が完全に放棄されたような音楽を聴くと、

ひとつの音はひとつの色斑であり、飛び跳ねる色斑の間に浮かび上がってくるカンディンスキー

の絵画を思い出す。」【マルク(1880~1916)】

抽象絵画の誕生 → 絵画の持つ意味・役割・目的の変化 : 「再現 → 表現」